

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月21日

協議会名:紀の川市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
和歌山バス那賀(株)	(粉河那賀路線) 上名手打田コースA 名手駅前～紀の川市役所(経由:打田駅ほか)の運行	・市内高校へMM(時刻表配布等)実施継続。 ・網形成計画策定に向け、市独自予算で実施した調査の取りまとめ完成。(市ホームページで公開。)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられた目標を達成した。	網形成計画(H31.3策定予定)に定められた内容をもとに、計画的な地域公共交通網の再編に取り組みます。
和歌山バス那賀(株)	(粉河那賀路線) 川原竜門コース 紀の川市那賀支所～紀の川市役所(経由:粉河駅ほか)の運行	・一部路線のフリー乗降区間新設を検討し、実施の目処がついています。(平成31年上旬から切り替え予定。) ・6/1から、民間路線検索サイトへのダイヤ・バス停位置等の情報を掲載開催。情報の発信に努めた。	A 同上	A 同上	同上
和歌山バス那賀(株)	(桃山路線) 細野貴志川コース 紀の川市役所～垣内(経由:貴志駅ほか)の運行 ※車両減価償却費等国庫補助金交付路線		A 同上	B 桃山路線では、年間利用者数目標を12,568人としていたが、実績は12,366人であった。	同上
和歌山バス那賀(株)	(桃山路線) 桃山鞆渕コース 紀の川市役所～下志賀(経由:和田ほか)の運行 ※車両減価償却費等国庫補助金交付路線		A 同上	B 同上	同上
(以上)					

【参考資料】「⑤目標・効果達成状況」について

①補助対象事業者等	②事業概要	⑤目標・効果達成状況	目標値		実績値		達成率	
			前年度 H28.10 ～H29.9	平成30年度 H29.10 ～H30.9	前年度 H28.10 ～H29.9	平成30年度 H29.10 ～H30.9	前年度 H28.10 ～H29.9	平成30年度 H29.10 ～H30.9
和歌山バス那賀 株式会社	(粉河那賀路線) 上名手打田コースA 名手駅前～紀の川市役所(経由:打田駅ほか)の運行	A	15,240人	14,680人	14,499人	15,337人	95.1%	104.5%
	(粉河那賀路線) 川原竜門コース 紀の川市那賀支所～紀の川市役所(経由:粉河駅ほか)の運行							
	(桃山路線) 細野貴志川コース 紀の川市役所～垣内(経由:貴志駅ほか)の運行 ※車両減価償却費等国庫補助金交付路線	B	14,968人	12,568人	12,568人	12,366人	84.0%	98.4%
	(桃山路線) 桃山鞆淵コース 紀の川市役所～下志賀(経由:和田ほか)の運行 ※車両減価償却費等国庫補助金交付路線							

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成31年1月21日

協議会名:	紀の川市地域公共交通活性化再生協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>平成17年11月7日に旧那賀郡内の5町(打田町、粉河町、那賀町、桃山町、貴志川町)が合併し、紀の川市が誕生しました。この合併により市の面積が228.21 Km²と拡大し、高齢者や障がい者などの交通弱者にとって市域内の移動が困難となったこと、また公共交通事業者の不採算バス路線撤退等による公共交通空白地域の増加等の問題も生じていたことから、「交通弱者の日常的な移動手段の確保」、「公共交通空白地域の解消」を目的とし、地域巡回バスの運行を開始しました。</p> <p>現在では、この地域巡回バス路線の認知度も、高齢者の方々をはじめとして、徐々に浸透してきているところです。また高齢化、人口減少対策として、市全体で定住施策を推進している中で、公共交通の充実も定住条件の一つと考えられます。</p> <p>以上のことから、引き続き、行政・市民・事業者等が協力し一体となって、この地域巡回バスの路線確保、サービス提供の維持を行っていきたいと考えております。</p>